



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 旭硝子株式会社

コード番号 5201 URL <http://www.agc.com>

代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 石村 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 上田 敏裕

TEL 03-3218-5603

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日

平成25年9月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	638,439	9.5	34,074	△29.0	32,809	△31.1	17,035	△45.2
24年12月期第2四半期	583,275	△5.0	47,975	△51.7	47,596	△53.8	31,073	△45.5

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 115,112百万円 (122.8%) 24年12月期第2四半期 51,668百万円 (△30.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	14.74	14.14
24年12月期第2四半期	26.88	24.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	2,039,294	1,095,572	50.8
24年12月期	1,899,373	996,949	49.6

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 1,036,662百万円 24年12月期 941,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	13.00	—	13.00	26.00
25年12月期	—	13.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	5.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,350,000	13.4	70,000	△24.7	65,000	△25.0	10,000	△77.2	8.65

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	1,186,705,905 株	24年12月期	1,186,705,905 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	30,920,218 株	24年12月期	31,123,685 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	1,155,671,546 株	24年12月期2Q	1,155,934,130 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績とは異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、補足資料を作成しており、当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①2013年12月期第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間（2013年1月1日から2013年6月30日まで）における当社及び関係会社（以下、当社グループという）を取り巻く世界経済を概観すると、欧州の財政・金融問題の影響や新興国の輸出及び内需拡大の鈍化が見られるものの、緩やかな景気回復が続きました。

欧州においては、一部の国の財政危機の影響により高い失業率と個人消費の落ち込みが続き、景気は引き続き低調に推移しました。アジアにおいては、中国を中心に一部の国で経済成長の鈍化が見られましたが、輸出と個人消費が牽引し、景気は概ね堅調でした。日本においては、輸出の持ち直しと底堅い個人消費により、景気は緩やかに回復しました。アメリカにおいては、住宅着工戸数は低い水準ながらも改善が続き、個人消費も安定的に推移したことから景気は緩やかに回復しました。

このような環境の下、当社グループでは電子関連製品の出荷は増加したものの、製品価格の下落、原燃材料価格の上昇により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前第2四半期連結累計期間比552億円（9.5%）増の6,384億円、営業利益は同139億円（29.0%）減の341億円、経常利益は同148億円（31.1%）減の328億円、四半期純利益は同140億円（45.2%）減の170億円となりました。

②2013年12月期第2四半期連結累計期間の報告セグメント別の概況

○ガラス

建築用ガラスの出荷は、日本・アジアにおいては堅調に推移し、北米では緩やかな回復基調にあります。一方、欧州では引き続き低迷し、価格も低い水準となりました。ソーラー用ガラスの出荷は、厳しい競争環境が継続し、前年同期と比べ減少しました。これらの結果、建築用及びソーラー用ガラスを合わせた板ガラスは、厳しい事業環境が続いたものの、円安などの影響で前年同期と比べ増収となりました。

自動車用ガラスは、日本では前年同期と比べ自動車生産台数が減少し、当社の出荷も減少しました。一方、欧州では自動車生産台数は減少したものの、当社の出荷は前年同水準を維持しました。アジア、北米においては出荷が堅調に推移し、また円安の影響もあり前年同期と比べ増収となりました。

以上の結果から、当第2四半期連結累計期間のガラスの売上高は前年同期比425億円（15.3%）増の3,207億円、営業損益は同96億円悪化し106億円の損失となりました。

○電子

表示デバイス用ガラス基板やディスプレイ用特殊ガラスの出荷は前年同期と比べ増加しました。

電子部材の出荷はカメラ向けオプトエレクトロニクス部材、半導体関連製品ともに前年同期と比べ増加しましたが、一部製品の出荷が軟調であったことから売上高は前年同期と比べ横ばいとなりました。

以上の結果から、当第2四半期連結累計期間の電子の売上高は前年同期比129億円（8.0%）増の1,740億円、営業利益は同5億円（1.3%）減の376億円となりました。

○化学品

クロールアルカリ・ウレタンは、アジアでの出荷が堅調に推移したことから、前年同期と比べて増収となりました。フッ素・スペシャリティは、欧州景気低迷等の影響を受け一部製品の出荷が低迷したものの、医薬中間体・原体の出荷が堅調に推移したことから、売上高は前年同期と比べ横ばいとなりました。

以上の結果から、当第2四半期連結累計期間の化学品の売上高は前年同期比103億円（8.0%）増の1,383億円、営業利益は同28億円（28.3%）減の72億円となりました。

なお、各報告セグメントに属する主要な製品の種類は以下のとおりです。

報告セグメント	主要製品
ガラス	フロート板ガラス、型板ガラス、網入り磨板ガラス、Low-E（低放射）ガラス、建築用加工ガラス（断熱・遮熱複層ガラス、安全ガラス、防・耐火ガラス、防犯ガラス等）、自動車用強化ガラス、自動車用合わせガラス、ソーラー用ガラス、産業用加工ガラス、装飾ガラス等
電子	表示デバイス用ガラス基板、ディスプレイ用特殊ガラス、ディスプレイ用周辺部材、光学薄膜製品、オプトエレクトロニクス用部材、合成石英製品、ガラスフリット・ペースト、半導体製造装置用部材、照明用製品等
化学品	塩化ビニル原料、苛性ソーダ、ウレタン原料、ガス、溶剤、フッ素樹脂、撥水撥油剤、医薬農薬中間体・原体、ヨウ素製品、電池材料等

上記製品の他、当社は、セラミックス製品、物流・金融サービス等も扱っています。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

○総資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1,399億円増の20,393億円となりました。これは主に、円安により為替換算後の有形固定資産等が増加したことに加え、上場株式の株価上昇に伴い投資有価証券が増加したことによるものです。

○負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比413億円増の9,437億円となりました。これは主に、有利子負債が円安の影響も含め増加したことによるものです。

○純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比986億円増の10,956億円となりました。これは主に、円安により為替換算調整勘定が増加したことに加え、上場株式の株価上昇に伴いその他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

(億円：千万単位四捨五入)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2013年2月7日発表予想 (A)	13,000	1,000	900	500
今回発表予想 (B) ※	13,500	700	650	100
増減額 (B-A)	500	△300	△250	△400
前期(2012年12月期) (C)	11,900	929	866	438
増減率(%) ((B-C)/C)	13.4	△24.7	△25.0	△77.2

2013年の世界経済は、全体として緩やかな成長を持続する見込みです。しかしながら、東欧を含む欧州全域の経済環境は期初想定していた以上に厳しい状況となり、建築用ガラスの需要および価格水準が、想定を大きく下回る見通しです。

加えて、円安の進行により、表示デバイス用ガラス基板を生産する海外子会社のコスト上昇が見込まれる状況にあります。

また、来期以降の業績反転のため、欧州建築用ガラス事業などの構造改革施策を実施することとしました。これに伴い、追加の特別損失が発生する予定です。

このため、2013年12月期における通期連結業績は2013年2月7日に公表した内容を下回る見通しです。

なお、通期の平均為替レートは、対米ドル円為替レート100円、対ユーロ円為替レート130円にそれぞれ修正しています。

《見通しに関する留意事項》

前述の業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみで全面的に依存して投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。実際の業績は、当社グループの事業領域をとりまく経済環境、市場の動向、為替レートなど様々な要素により、見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	100,461	117,939
受取手形及び売掛金	249,572	253,221
有価証券	20,300	10,300
商品及び製品	92,919	100,129
仕掛品	41,586	46,406
原材料及び貯蔵品	73,841	81,542
その他	77,740	82,945
貸倒引当金	△5,173	△5,328
流動資産合計	651,248	687,157
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	574,483	602,509
減価償却累計額	△311,609	△327,224
建物及び構築物（純額）	262,873	275,284
機械装置及び運搬具	1,684,007	1,793,293
減価償却累計額	△1,173,317	△1,261,090
機械装置及び運搬具（純額）	510,689	532,203
その他	120,005	127,508
減価償却累計額	△95,471	△102,031
その他（純額）	24,534	25,476
土地	78,231	82,403
建設仮勘定	81,332	107,940
有形固定資産合計	957,661	1,023,309
無形固定資産		
のれん	26,922	27,600
その他	24,986	26,416
無形固定資産合計	51,909	54,017
投資その他の資産		
投資有価証券	195,897	236,876
その他	46,013	41,258
貸倒引当金	△3,357	△3,324
投資その他の資産合計	238,553	274,810
固定資産合計	1,248,124	1,352,137
資産合計	1,899,373	2,039,294

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	118,893	121,727
短期借入金	69,141	71,650
コマーシャル・ペーパー	11,862	16,964
1年内償還予定の社債	20,000	42,570
未払法人税等	15,325	11,342
引当金	13,419	11,916
その他	124,173	126,552
流動負債合計	372,816	402,725
固定負債		
社債	92,294	70,000
新株予約権付社債	50,000	50,000
長期借入金	289,683	309,079
退職給付引当金	59,681	66,764
その他の引当金	9,076	9,016
その他	28,870	36,136
固定負債合計	529,607	540,996
負債合計	902,423	943,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,873	90,873
資本剰余金	96,961	96,961
利益剰余金	826,265	828,248
自己株式	△30,076	△29,873
株主資本合計	984,023	986,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,615	74,597
繰延ヘッジ損益	174	△18
為替換算調整勘定	△90,971	△24,127
その他の包括利益累計額合計	△42,181	50,452
新株予約権	1,862	1,789
少数株主持分	53,243	57,120
純資産合計	996,949	1,095,572
負債純資産合計	1,899,373	2,039,294

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)
売上高	583,275	638,439
売上原価	422,764	484,030
売上総利益	160,510	154,408
販売費及び一般管理費	112,534	120,334
営業利益	47,975	34,074
営業外収益		
受取利息	645	725
受取配当金	1,597	1,934
持分法による投資利益	954	509
その他	821	1,237
営業外収益合計	4,020	4,407
営業外費用		
支払利息	2,954	2,970
為替差損	302	2,171
その他	1,143	529
営業外費用合計	4,400	5,671
経常利益	47,596	32,809
特別利益		
固定資産売却益	1,547	326
投資有価証券売却益	—	404
受取保険金	9,981	—
その他	795	337
特別利益合計	12,324	1,068
特別損失		
固定資産除却損	3,895	2,850
減損損失	1,213	—
事業構造改善費用	5,496	2,520
その他	2,976	955
特別損失合計	13,582	6,325
税金等調整前四半期純利益	46,338	27,552
法人税等	12,981	9,194
少数株主損益調整前四半期純利益	33,357	18,357
少数株主利益	2,284	1,322
四半期純利益	31,073	17,035

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	33,357	18,357
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,152	25,996
繰延ヘッジ損益	△8	△193
為替換算調整勘定	8,953	68,493
持分法適用会社に対する持分相当額	212	2,458
その他の包括利益合計	18,310	96,754
四半期包括利益	51,668	115,112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,290	109,668
少数株主に係る四半期包括利益	2,378	5,443

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	46,338	27,552
減価償却費	56,877	67,389
減損損失	1,213	—
のれん償却額	767	960
引当金の増減額 (△は減少)	△788	2,495
受取利息及び受取配当金	△2,243	△2,660
支払利息	2,954	2,970
為替差損益 (△は益)	△782	△7,285
持分法による投資損益 (△は益)	△954	△509
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△238	△91
固定資産除売却損益 (△は益)	2,348	2,524
売上債権の増減額 (△は増加)	4,944	12,152
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,752	△6,225
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,679	△6,457
その他	2,505	2,896
小計	101,509	95,711
利息及び配当金の受取額	2,962	3,270
利息の支払額	△2,827	△3,158
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△9,482	△8,172
営業活動によるキャッシュ・フロー	92,161	87,651
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△111	△230
定期預金の払戻による収入	8,808	397
固定資産の取得による支出	△69,959	△77,452
固定資産の売却による収入	4,222	2,020
投資有価証券の取得による支出	△2,666	△946
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,738	2,281
子会社株式の取得による支出	—	△1,978
その他	△1,448	△1,680
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,416	△77,590
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△5,654	10,341
長期借入れによる収入	78,995	25,292
長期借入金の返済による支出	△6,317	△24,302
社債の発行による収入	—	20,000
社債の償還による支出	△745	△20,000
少数株主からの払込みによる収入	252	—
自己株式の取得による支出	△8	△19
配当金の支払額	△15,027	△15,022
その他	△1,542	△1,848
財務活動によるキャッシュ・フロー	49,952	△5,558
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,621	11,143
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	85,319	15,646
現金及び現金同等物の期首残高	117,558	133,818
現金及び現金同等物の四半期末残高	202,878	149,464

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 2012年1月1日 至 2012年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			セラミックス ・その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス	電子	化学品				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	277,510	160,558	126,376	18,829	583,275	—	583,275
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	714	539	1,608	29,182	32,044	(32,044)	—
計	278,224	161,097	127,985	48,012	615,320	(32,044)	583,275
セグメント利益又は 損失(△) (営業利益)	△943	38,125	9,998	869	48,051	(75)	47,975

注 1 「セラミックス・その他」の区分は、報告セグメントに含まれないその他の事業セグメントの合算であり、従前の「その他」の区分名称を変更したものであります。

2 セグメント利益の調整額△75百万円には、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等が含まれております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			セラミックス ・その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス	電子	化学品				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	318,765	168,297	136,813	14,563	638,439	—	638,439
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,968	5,733	1,438	23,112	32,253	(32,253)	—
計	320,734	174,031	138,251	37,675	670,692	(32,253)	638,439
セグメント利益又は 損失(△) (営業利益)	△10,558	37,613	7,173	176	34,405	(331)	34,074

注 1 「セラミックス・その他」の区分は、報告セグメントに含まれないその他の事業セグメントの合算であり、従前の「その他」の区分名称を変更したものであります。

2 セグメント利益の調整額△331百万円には、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等が含まれております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。